



## 雨をも蹴散らし ～08. 5/25 第一楽章 田植えと若葉の宴たび～

予報は雨。で、現実は大雨洪水警報が出るような天気だったため、宴のみの予定で発進。『かごのはな（鷺山邸）』に集った100人が初がつお、新じゃがなどをすごい勢いで食していきました。

世話人的には「宴」でひと仕事終わったつもりだったのですが、天気もすごい勢いで回復し、「稲刈りも自分たちの稲じゃなきゃ！」と言い出した会員さんたちは、一気に呵成に谷本の田に飛び込みました。雨上がりだったため、水が満々で足運びもひと苦勞。稲の並びも酔ったような（いや、酔ってた）植え具合でした。秋、大丈夫かな？



### ←前夜祭も大盛り上がり

前夜、世話人による準備があり、主宰者が声をかけて集合した東京の学生さんたちも蕎麦打ちなどに挑戦しました。中国・韓国の留学生さんもいて、興味深い様子でした。薪割りやら打ちたて蕎麦の試食やらでみんな大盛り上がりでした。



### 雨に唄えば↑

宴につきものの中溝裕美さんのジャズナンバーで、今回も楽しませていただきました。

雨で舞台設定を邸の入口としたため、慌ただしい状況でじっくり拝聴とはいかずすみませんでした(>\_<)。

### 携帯電話のホームページを見よう！

<http://www.loco2008./hananoka>

花の香楽会2008では、携帯電話のホームページを立ち上げました。花の香楽会の情報は、だんだんとこのホームページやメールを通じての発信に移行します。みんなで見よう！！



花の香楽会  
ホームページ  
QRコード



### ←サプライズパースデー

世話人による勝手な設定でキャンペーンガールに仕立て上げられた竹内優子嬢ですが、この日偶然お誕生日だったため、ミニ誕生日とあいになりました。おめでとうございま～す(^\_^)～

### ♪今後の予定♪

- ・第2楽章「稲刈りと実りに感謝の宴」9月14日（日）午前10時～ ※予定。
- ・小田麻子ライブ in かごのはな 8月23日（土）※詳細未定
- ・二胡と揚琴・四川大地震チャリティーコンサート6月15日（日）午後6時30分～大須賀中央公民館  
※通信が届くころには終わっちゃってるかな((+\_+))







～花の香楽会 2008 特別プログラム～

四川大地震チャリティーコンサート  
癒しの二胡と揚琴

とき:2008.6.15(日) 18:00 開場 18:30 開演

ところ:大須賀中央公民館 掛川市西大淵 145(0537-48-1012)

入場料:1,000 円(四川へのチャリティーとなります)

「演奏者」

二胡・・・劉 揚(リュウヤン)

揚琴・・・何静華(フー・チンフォア)

2008年5月12日 中国四川省 突然起きた悲劇！  
中国を故郷とする私たちは、悲しい気持ちでいっぱいです。  
同じ人間として、少しでも悲しみを癒せればと思い  
チャリティーコンサートを計画いたしました。  
ぜひお出かけください。



五月十二日 中国四川！  
忘れられぬ悲しみをわずかでも癒せれば・・・

四川省の中心部「天府の国」を突然襲った未曾有の大地震！ときは5月12日午後2時28分(現地時間)  
大自然の破壊力は人間の想像力をはるかに超え、無情にも襲った大災害。

昼寝の夢の中、授業中、風光明媚なロケ地での結婚記念撮影の最中、また、やっとわが子にお乳を飲ませて一息をついた直後、「ゴー！」という恐ろしい地響きと同時に大地がゆれ、山が崩れ、家が倒れて、全てが一瞬で地獄に突き落とされてしまいました。

国は違って同じ人間、被災者と同様に同じ地球人、仲間です。だからこそお互いに助け合いましょう。

謝辞

劉揚・何静華

～主催：花の香楽会 2008 協賛：遠州横須賀倶楽部～

(問) 花の香楽会世話人 杉浦 (090-7311-6534)





**開催!**

稲刈りまで待てない楽会員諸氏への夏のプレゼント!

## 古民家で聴く心の調べ

～日本歌曲からオペラまで～ 8.23 (土)

### かごのはな (鷺山邸)を舞台にあの、オペラ「おでん座」がコンサート&交流会

私たち花の香楽会メンバーは発足以来、いろいろと大人の遊び(笑)を楽しんできましたが、この夏もスペシャルな企画をご用意しました。

それは、かごのはな＝鷺山邸を舞台化させてのオペラ「おでん座」のコンサート『古民家で聴く心の調べ』です。古民家がコンサートホールなので、一部視界がとれなかったり、席が変形だったりしますが、声の反響は味わい深いものがあります。



▲ 2007 陶酔の宴にて美声を披露するオペラ「おでん座」の面々。

「おでん座」は東京学芸大・音楽科学生＋卒業生有志で構成された合唱グループ。

コンサートは2部構成。1部では童謡からクラシックまで6曲を披露し、2部では演劇仕立てで12の楽曲をつなぎます。ほかではちょっと味わえない、週明けの話題独占間違いなし、のイベントです。コンサート後には、恒例交流会。お酒は出ませんが、収穫の秋を目前にしてのフルーツ主体の『みのりのお茶会』です。会費は会員2,000円(非会員は500円Plus) 場所が場所だけに、100人限定とさせていただきます。過ぎ行く夏の思い出の1ページを飾るにふさわしい企画です。下記要領で即、予約してくださいね。

◆と き : 2008.8.23 (sat.) 12:00 開場・13:00 開演

◆と ころ : 『かごのはな』(鷺山邸) 掛川市上土方4

◆U R L : <http://www.loco2008.jp/hananoka/>

◆料 金 : 会員 2,000 円 (非会員 2,500 円)



●お問い合わせ・ご予約はこちらまで●

静岡県掛川市大坂456-3 「酒のすぎむら」

TEL : 0537-72-2575 (FAX : 同-4990) E mail=sksm@quartz.ocn.ne.jp

申込みの締切りは8/10。限定人数になり次第終了です。



86,680円の善意ありがとうございました。

二胡と揚琴チャリティーコンサートご報告

中国四川大地震へのチャリティーを目的に、去る6月15日(日)夜、大須賀中央公民館にて開催。告知期間が短かったにもかかわらず、109人にご来場いただきました。必要経費以外の収益を、中日新聞事業団東海支部経由で寄付させていただきました。 謝謝

**\*\*花の香楽会は皆様の会費で運営されています\*\***

会費によって「通信」郵送料や携帯花の香サイトが維持されています。

会費を納めていない方は、至急手続きをお願いします。えっ?面倒?そ、そう言わずよろしくです。

掛川市成滝600-1  
☎(0537)22-3344  
FAX(0537)24-6029  
SBS(0537)22-8677

磐田支局

磐田市中泉238-3  
☎(0538)32-2098  
FAX(0538)35-7682

袋井市方丈3-1-19  
☎(0538)45-0464  
FAX(0538)42-0977

御前崎支局

御前崎市池新田5490-1  
☎(0537)63-0069  
FAX(0537)85-3785

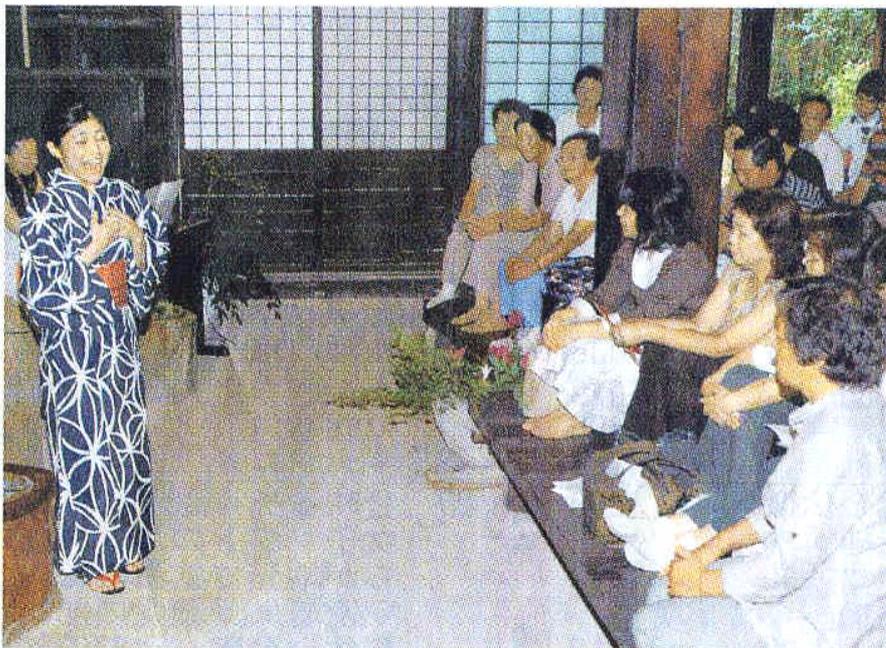
# 古民家に響く歌声

東京学芸大音楽科OBら

掛川・鷺山邸でコンサート

東京学芸大音楽科の卒業生らでつくる「おでん座」は二十三日、掛川市上土方の鷺山邸で、音楽

コンサート「古民家で聴く心の調べ〜日本歌曲からオペラまで〜」を開いた。約七十人の来場者を



古民家に歌声を響かせる  
出演者(左) 掛川市上土方の鷺山邸

前に、六人の出演者が伸びやかな歌声や音色を響かせた。

コンサートは同大の鷺山恭彦学長が自宅を提供し、鷺山学長が主宰する市民グループ「花の音楽会」の協力で実現した。かつて造り酒屋だった古民家を改修した会場は、土間がステージで観客席は座敷。出演者は寸劇も交えながら、日本歌曲やオペラなど十八曲を披露した。

1908.8.27 日

# 古民家土間で オペラを上演

掛川

東京学芸大の卒業生らで結成されたオペラ「おでん座」が、掛川市上土方の明治時代の造り酒屋だった古民家で「古民家で聴く心の調べー日本歌曲からオペラまでー静岡公演」を開いた。写真。

おでん座と交流がある異業種交流団体「花



古民家の土間をステ

の香楽会」(代表・鷺山恭彦東京学芸大学長)が協力して開催。市民ら七十人が集まった。

ージに、五人の歌い手とピアニストが童謡「しゃぼん玉」など日本の歌曲、寸劇とオペラ関連の曲を独唱や四

重唱で披露した。

来場者は「普通のコンサートとは違った面白さがあった」と感心していた。



特別楽章

## 古民家+歌声=至福なひととき

どんより曇りの土曜日。なのに、普段では味わえない至福のひとときを過ごしたのが、8月23日かごのはな（鷺山邸）に集った71人でした。

古民家の土間を舞台に、3つの広間を客席にして「日本歌曲からオペラまで」20曲余、約2時間の「おでん座静岡公演（小田麻子代表）」にみんな大満足！

邸を宿屋にみたくて寸劇仕立てで「からたちの花」から「シャンパンの歌」までを独唱や4重唱などで次々に披露。「まるで専用舞台のような響きの良さにびっくり」「普段聞けない催しで楽しかった。孤独が原因の事件が多発している世の中、こうした交流の場は大切」などの感想が聞かれました。

舞台後は、まくわうりや差し入れブドウ、おいしい冷茶でのおしゃべり会で楽しみました。



### 出演者データ

東京学芸大出身者らで平成15年結成の「おでん座」の面々。  
小田麻子（リーダー）・横山里江子・小関志然・山崎智松井永太郎・佐藤亜里紗（ピアノ）

### お酒抜きイベントはダメですか？

「お客が殺到したらどうしよう？」半ば狸の皮算用に走った世話人の思惑とはうらはらに、直前まで申し込みはわずか。「どう？」って誘うと「お酒出ないんでしょ？」との答え。う〜む、会員さんの酒抜きイベントはダメ？でも、新規客層に楽会をアピールできた面も。

## おまちかね！ 稲刈りと実りに感謝の宴」の予告だよ〜

またまたまた実りの秋がやって来ましたあ〜♡ 感謝の気持ちで、会員全員集合だっせー！！

と き／9月21日（日）午前10：00～  
ところ／高天神城入り口 谷本の田んぼ  
参加費／一人2,000円（当日持参）

服装／稲刈りをするので汚れてもいい服装  
持ち物／一酒一肴持ち寄り大歓迎

※雨天の場合、会場を変更して「宴」のみ行ないます。

※駐車場あり

※小学生以下は無料。非会員の参加OKですが、参加費は2,500円です。

※帽子、タオルや着替え、長靴や汚れてもいい運動靴等

※エコロジーサプライズイベントがあるかも？

### “「おでん座公演ご案内」”

☆おでん座の第7回公演が以下のとおり開かれます。  
ソプラノ〜バリトンに惹かれちゃった貴方、ぜひ聴きに行ってください。客席で「楽会会員」をアピールすれば、メンバーからの投げキッスくらいの歓待はされちゃうかも？（根拠なし、のCMです）

### モーツァルト 歌劇《フィガロの結婚》

と き：2008.12.14（日）18：00～

ところ：東京都東大和市市民会館ハミングホール

入場料：2,000円

問合せ：090-6489-3761（山崎）odenza@hotmail.co.jp





～第二楽章～

米作りの苦勞と楽しみ、その全てに感謝！

微妙なお天気、9月21日、楽会3度目の稲刈り＆実りに感謝の宴が催されました。稲刈りには60人が、宴には100人がそれぞれ参加。中には中国からのお客さんも。そのうちのひとり、東京学芸大学特任准教授の林敏潔(リンミンジエ)さんは「稲刈りは初めてですが、楽しいです。でも、仕事として全部を刈り取る事を考えると、ご苦勞も実感できます。改めてお百姓さんたちに感謝しなくては、と感じました」との感想を話してくれました。「だからこそ、お酒になったときの感激も楽しみです」とも。

5月に会員で田植えをしました。が、実際は地元農家の方の補植や草取りやらの丁寧な作業の積み重ねがあったればこそ、の実りなのでした。みんなでワイワイ稲刈り。このワイワイこそ楽会のパワーです。



宴に若さの華！  
炎衆北斗のよさこいダンス

楽会宴の楽しみは、普段会えない人たちとの交流。この日も菊川東中の1、2年生8人が小気味いい『よさこいダンス』を披露してくれました。おまけにクイズやオリジナルソング「花の香」歌唱も。ザッツエンターテイメント！司会の永田先生共々まるでプロ(^\_^)



大学院生の季艶姫(リ・エンキ)さん、この直後レディに変身してタイに旅立っていました。なんてアクティブな！静岡空港ができたらこの会ももっと国際的になるのかな。



楽会の活動方針のひとつにエコ活動があります。今回は、静岡からマイ箸づくり普及活動をしている杉山雅彦さんを招いての「マイ箸づくり教室」を開催しました。

素材は梅に檜にロウズウッド。3種類の紙やすりで磨くこと1時間、世界でたったひとつのオリジナル「マイ箸」が出来上がります。1時間磨くことで、木の目が詰まり、カビを防止しつつ、見事な光沢が出ます。

何より、その苦勞は作品への愛着となり、今後のエコ活動の精神的支柱になるでしょう。

裏面会員名簿をご確認ください

本通信は、年会費で作成、発送されています。だから面倒ながら毎年更新をお願いしています。前回から会員と非会員の格差料金も設定させていただいておりますので、会員登録をどうぞ、よろしく。

次は第3楽章・・・の前に、特別楽章 題して・・・『宴に使う炭を自分たちで焼こう！まずは窯から(仮称)』

楽会名物、「モノづくりを楽しもう♡」の一環として、来る11月23日(日)高瀬の山にて『炭窯づくり』に挑戦してみよう！

募集要項などの詳細は次回通信に譲るけど、この話も花の香楽会の集まりから浮上して、今回の催しの中から窯造りに必要な粘土の手配が実現しよう。楽会って夢がかなうメルティングボックスかも？





中日新聞 2008.9.22

田に入って稲刈りをする会員ら—掛川市上土方嶺向で

# 幻の酒 今年も楽しみ

「花の香楽会」

酒造用米を稲刈り

掛川

掛川市上土方地区に  
あった幻の美酒「花の  
香」の復活を通し、地  
域おこしを図る「花の  
香楽会」（主宰・鷺山  
恭彦東京学芸大学長）  
は二十一日、同市上土  
方嶺向の田で酒造りに  
使用する掛け米「高天  
神コシヒカリ」の稲刈  
りをした。

県内や東京から六十  
人の会員が参加。地元  
農家の指導をかまを持

つて雨でぬかるむ田に  
入り、良く実った稲を  
刈り取った。

鷺山学長を通して楽  
会の活動を知り、初め  
て参加した東京学芸大  
特任准教授の林敏潔さ  
んは「昔の人の苦労が  
分かった。食の大切  
さ、安全も実感した。  
この米から造る酒が今  
から楽しみ」と話して  
いた。

楽会は二〇〇六年、

花の香の蔵元の子孫に  
当たる鷺山学長が同市

の土井酒造場の土井清  
幌社長に復活を打診し  
たのがきっかけとなり  
発足。〇七年と〇八年  
春に数量限定で花の香  
を復活した。

炭焼きを体験するほ  
か、〇九年春には新酒  
の仕込みに入る。問い  
合わせは楽会事務局の  
「酒のすぎむら」＝電  
0537(72)257  
5。（楯三紀男）



抜群のチームワークでち  
らしずしなどを作る親子  
＝浜松市東区西塚町で



**第3楽章**

**3年目の春へ！「2.8」花の香仕込み**

干支を決めるための神様へのあいさつに、牛さんは己の足の遅さを考え、しっかり準備をして干支動物2番手に輝きました。花の香楽会も、こんな誠実さを見習いつつ2008活動も、いよいよ仕込みを迎えます。3年目の今回は、2月8日（日）午前5時に土井酒造での仕込みとなります。第3楽章の『花の香仕込み～蔵見学&利き酒&日本酒談議』を前日の7日（土）に実施し、お泊まりのうえ仕込みに突入。3月22日（日）には最終楽章の『花の香蔵出しと新酒を味わう陶酔の宴・参』を開催。ま新しい手帳にしっかり予定を書き込んでおいてください。



昨年の仕込みの様子 2008.2

**【ご案内 & 参加者募集】 第3楽章**

**花の香の仕込み～蔵見学&利き酒&日本酒談議～**

- と き：平成21年2月7日（土）13：00集合。8日（日）早朝5：00、蔵にて仕込み見学
- ところ：鷺山邸へ集合。夜なべ談義+鷺山邸泊を経て、車にて土井酒造へ移動。
- 人 数：FAX申込み先着20名まで（宿泊スペースの関係上）
- 参加費：6,000円（貸し布団・夕朝食・利き酒込み）予定
- 申込み：2009年1月18日（日）午前9時～午後6時の間に酒のすぎむら宛てにFAXのみにて受付。先着20名まで。
- 内 容：蔵見学+開運利き酒。日本酒の造り方等のウンチク談議。鷺山邸（花の香蔵元「かごのはな」）に宿泊のうえ、翌朝5時ころ再び蔵へ移動し、仕込み体験&見学。朝食後解散。



**☆ 山彦も来た！！  
打ち合わせ兼忘年会で交流の輪が広がる**

上記イベントの打ち合わせ兼、楽会有志の忘年会が12月20日鷺山邸で行われました。会は、投汁そばやしいたけ、手造りハムなどを肴に大盛り上がり。今回は、倉真地区で森林再生活動を展開している『時ノ寿の森クラブ』のメンバーも参加。「海のある大東地区でのこの活動は素晴らしい。山彦的な私たちのクラブと交流を深めてほしい（松浦成夫会長談）」とのこと。交流の輪がまた広がりました。

Cut

花の香楽会 2008【第3楽章】花の香の仕込み～蔵見学&利き酒&日本酒談議【申込書】  
申込日21年1月18日（日）午前9時～午後6時の間、FAX限定で先着20名様限りです。

◆申込み／何でもあり酒屋「酒のすぎむら」FAX0537-72-4990

氏名	電話	備考

※ 宿泊付き企画のため、21番以降申し込みの方はごめんなさい。8日朝5時に土井酒造に直接来られる方の仕込み見学は可です。 (問) 「酒のすぎむら」TEL0537-72-2575



## ～第3楽章～ **楽会は まなび** の結節点！次は面へと広げよう

「楽会は『まなび』の結節点になっています。より深めていきましょう」2月7日・8日に開かれた第3楽章『蔵見学と利き酒』での鷺山主宰のあいさつ。集まった31人は、古民家鷺山邸での仕込み前夜祭でおおいに語り飲み明かしました。

自己紹介の中には「以前は人の集まりを避けていましたが、花の香楽会に顔を出してから大勢の人と過すことが楽しくなりました」との声もあり、楽会としてはうれしい限り。

楽章のひとつひとつは点ですが、ここで知り合った仲間たちがまちづくりコンサートを開いたり、自然保護活動へと動き出したりしています。まさに社会活動の面へとつながっているのです。

さあ、あなたも一緒に！！



ラベル作りの苦労話を語る鷺山主宰



### 楽会事業の予告です

次回、3回目の最終楽章。題して『新酒の蔵出しと陶酔の宴・参』は3月22日(日)午前11時から土井酒造場を予定しております。詳細は同封のチラシにて。新酒の受け取りも開始します。

### 『酒の上にも3年講演会(仮称)』(詳細検討中)

活動3年にして築き上げた「ひととひととの輪」をテーマに、7月5日鷺山主宰による文化講演会を開催。楽会の企画だけに遊び心いっぱいの催しにすべく検討中。スケジュールに入れてね。

### (仮称)「はるの花咲け！にこ二胡コンサート」開催

「花の香楽会」的活動を地元でもしてみたい、という思いが、このたび実現することとなりました。それが…

と き：平成21年4月12日(日)午前11時～

と ころ：浜松市春野町信濃畑(満開の桜が借景！)

内 容：楽会会員の劉楊さんと望月さんのエレクtronによるコンサート。山の幸御膳付き

参加方法ほかは、後日メール等でお知らせ。

### ◆新ラベルは主宰直筆◆

いろいろあって『花の香原酒』のラベルは毎年変化しています。が、ここで定番を、との思いから09年版は、復活酒のきっかけをつくった鷺山主宰の直筆文字をデザイン化。うんちくが一つ増えました。



### 【裏番組情報】

『陶酔の宴・参』と同日開催になってしまいましたが、エコ派には『時ノ寿の森』植樹祭もお薦め！！

と き：H21.3.22

と ころ：掛川市倉真  
時ノ寿の森

定 員：300人

参加費：無 料

申し込&問い合わせ

時ノ寿の森クラブ  
〒436-0051

掛川市中宿(松浦)  
0537-23-0412

(tel・fax 兼)

締め切り2月28日

※花の香楽会も  
後援しています。



いいお酒にな～れ





### ◆巡る春、三度『新酒の蔵出しと陶醉の宴・参』



何事も3年続けば大したもの。  
モノづくりにこだわった交流事業『花の香楽会』も3度目の春を迎えました。3月22日小雨パラつく土井酒造にて開かれた『陶醉の宴・参』は、悪天候ながら、200人が集まり08版花の香の蔵出し+地産地消料理+生ジャズ+アカペラで楽しみました。

今回の特色は、参加の7割が会員外だったこと。地酒づくりは、3年を超えると頭打ちになる例が多いと言われますが、こんな感じで裾野が広がれば、ベースが『開運』というブランド酒だけに、まだまだ酒づくり交流ののりしろは伸びそうです。まずは、新酒で乾杯！！



▲こだわりの地産地消料理の数々は宴の売り！話も弾みます。

#### 会員登録と会費のおはなし

09年会員登録は、携帯電話からでもできるようになりました。詳細は別紙申込み書参照。  
登録したら年度更新の会費(1,000円)の払い込みもよろしくをお願いします。いまだに勘違いしていらっしゃる方がいるようですが、会員は1年ごとに会費をいただいた方に資格が発生し、会員証も送られます。会費は情報紙の郵送料や携帯通信維持費に使われます。

### 09田植えは5月24日(日)、大安だったります。みんな集合～

2009花の香楽会第1楽章は、5月24日(日)午前11時から(遠方からのお客様が多く、例年より1時間遅れにしました)。会場はおなじみ、高天神城 跡北の搦手(からめて)口の楽会ご用達田んぼ。いつもどおり、飛び入りもOKですが、できればちゃんと会員登録して参加してくださいな。

#### 楽会の余波広がって・・・

楽会流交流は、いろいろな人たちや催しとつながってきました。『しなばた』を愛する尾上さんと、春野の仲間たちは、楽会よろしく『信濃畑ニコ二胡コンサート』を4月12日春野に100人集めて開いちゃうし、時ノ寿の森クラブは『陶醉の宴・参』と同日、倉真の森で植樹祭をやっていました。こちらも200人近く集まったとか。掛川市民大学院2期生の宇佐美千穂さんは、これから峠の『飴の餅』という地域資源をより多くの人に広めたい、という活動を楽会とも連携して進めたいそう。とにかく、いろんな人が楽会流の交流事業を始めたり深めたりしているのです。  
わが楽会も7月12日、活動3周年記念鷺山主宰講演会(すみません、以前PRしていた7月5日は変更になりました)企画を進めています。

楽会と仲間たちの今後に刮目せよ!<sup>かつもく</sup>(^)!)



08版『花の香原酒』のデザイン文字は、鷺山主宰の直筆！！  
プレミアだよお～ん(^。^)



随着全球经济的不断发展，企业面临着越来越激烈的竞争。为了在竞争中脱颖而出，企业必须不断创新，提高自身的核心竞争力。这不仅需要企业在技术研发上投入大量的资金和人力，还需要企业在管理、营销、服务等方面进行全面的改革。

首先，企业应该加大在技术研发方面的投入。只有拥有自主知识产权的核心技术，企业才能在激烈的市场竞争中立于不败之地。其次，企业应该注重人才培养和引进。人才是企业发展的第一资源，只有拥有一流的人才队伍，企业才能实现可持续发展。最后，企业应该加强品牌建设和营销推广。品牌是企业无形资产的重要组成部分，良好的品牌形象可以提升企业的知名度和美誉度，从而为企业带来更多的商机。

在激烈的市场竞争中，企业必须不断创新，提高自身的核心竞争力。这不仅需要企业在技术研发上投入大量的资金和人力，还需要企业在管理、营销、服务等方面进行全面的改革。

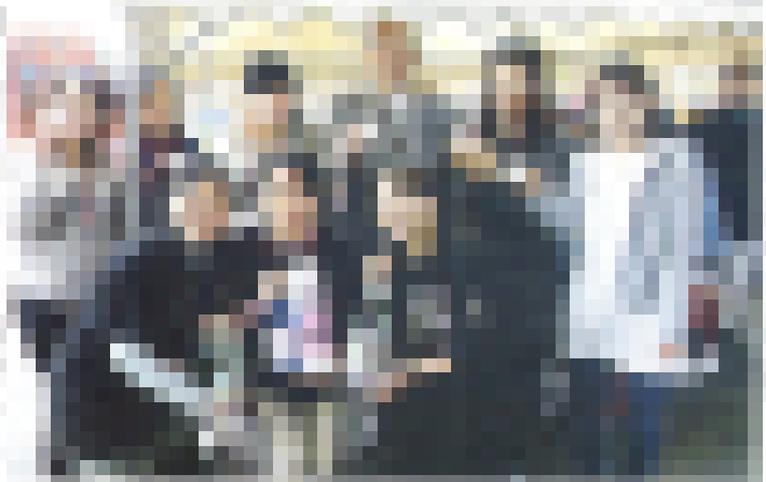


图 1 展示了与会者在会议期间的合影。图中人物均穿着正式商务服装，背景为会议现场。